二十六番

常彰集

分集

リ

伊地知文庫
文庫20
164

國書寮本
並 266 270・501 453、異本アリ。
501 209ト同一本ナリ。他ニ 266 134

伊地知氏書册

文庫20
164

伊地知氏書册

文庫20
164

[illegible]

先ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

又茅[illegible]の[illegible]

[illegible]

先ハ不用[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一なし

やうなるもの、ことなるこゝろ地を
こゝろ得たるのみまゝ記しつけ
姫のなしたる世間と又うつる
日の、ものなり
物語をうたなし世をとく
物語人のきゝたるこゝろ
うたがひなし

世をさとりて
こゝろ人こゝろ
光も物の人よ長恋をこゝろ
ものもの又上恋者のものて
一こゝろ
ものも油のものこゝろなし
物さ蓮のこゝろ
のものもなし世界をこゝ

多のゝし銭あまくみかし
これハうくつまあり
東城の道あそなる初き茅れ
うしてもあむとうぶ
是ハうしえらのませ
梓ぢ因ぢ椒めし出しぢ人く
銭ちしうしう徳りしこせよ
これハ初ての是又かまとにさむ

佛神とも徳もぶ文字学ひ遠く
わるうと書うちく苑ぢ稽の名り
一ゟ是柏果の業人てらもまハ志
作りの是又うくつまゝ以よ年も
あり深良なしにおちし候

一きはぢ
ちり雪の如りて傳楼こ作らと
仁人さ人やおもむき仲し

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一年間

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

詩人好とこら有りけると云も宜なると
されハよいふ事を考へ
林ともの此人好風り色めきて儀
りく田乃ころ此家の者ども葉
荒ハ好こそ限ろくの妃甘の
此こ好も之人好色一ぐ由ぶ
歌好色漢民部綾女之人云事
なくかきろく歌の色

一こくる
思ひ川なしとかけ歌乃あはれ
そく切く人をあらくまくみを
歌のあはれ思ひ歌此清のこゝろか
こと清く今ハ云事理きよらなる
なく人て云ハ歌の清ま何とも定歌
のうむ詠む之人云ハらく切く人ハ云事ハ
清らなる口字のりこと切れハ則

以下十三字仁孝細字僧侶

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

以世人の詞の如くに如しまも
まことさらハあらし その手ら
花ハ詞の花を尽く 地なら
露の様おのつから
谷鶯ハ詞を囀ハ我 手なれ
足下なれくし やま 如ら
それハ枝に鳴き 如さ打し候
意文書候まとに如ハ 見里

更にことに心の底深き候文て
如しことに候へとも候はず候
筆跡
かくて手足かきもやハ世乃中に
花の如しまハ詞の如くなれ
心ハこと如しき言たり

一文目

文月 菊ハ 此しま鶯呼とも まこの如し

大江のきしハうちさかまきを
此所さゝれ石ハ人ちハ寒さ
しきさくし子郡
又月面ハ姥子の岩きぬくく
まくも流人さかくもおもくさ
此所ハ又月面の淡くと云心也
又月面ハ寒くもぬれまふ里ら志さきを
志もれまさら流戸ゆかし人

同前
一 ゆくせし
きりの身世ぬれぬれをいとせし 光ハ行く
ことしぬ淳名ふるもいつまでとこそ 女郎云心ゆ在
身よ春御淳世ふるもいとせし 此所云心
きくくやハ堺まむあらきもゆくきん
むくの為ぬ林乃梯ふ会
一 ゆくく

[illegible]

一あるとき

大略あるときの事[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

袖なくて人の様くらし
は婦らしくゝはなを待る人のさ
結なり好ミ其聲たり此字ゝなし
様くの事ハ婦もそし待るなると
らく婦らしくさまく人なる是ハ源氏
の宮北の方おもしろし時紫の
之人きんもめさく地しの物一重ばかく
の結く又のゝ帷先を仕女く係ら

一 婦りき

結し時おし正れハ一ゟ現れて
とハ結ねくく婦らハ一くハ一くそこ
こと心女ちくゐしく詞の義も是へし
もれくゝ記よしの中とのゝなる結有
当様なして見いなし又くも志こ又なるく
ハふ正しり見も待くし此ハ清ほも
且弁の時ハりれ中二寄きせし

一 玉のを

玉のをゝきしなんとすへし以長命
え玉おとかれをまとめて伊曾地球
あるハいそくしいまむかし又古人の
長命よ玉のをとけくなしこきもし1の
らへこむく家こなりなしいよ
ハあれのとめを結ぶさしきつゝ玉哉
こゝまでしあるゝ忘也 濠民作

菜種の玉のをなゝ以ゝ伊予之
又あるハ玉のをとなして云ハ云以の
すすり書付るハ命をなし山
のゝよるや絶 茎の小露哉
よむきとあようゝ玉のおれ清く
奈しうそゝ元て 花ハお清
山姫く玉の心 露雫の哉
山々清の時雨なけし 玉山る 野乃

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又出歌の[illegible]

一[illegible]

花と[illegible]く[illegible]代うやせハ先こく
色はけ[illegible]ても[illegible]く　若葉[illegible]の本
所西
ある[illegible]なま[illegible]風由さ[illegible]ふ[illegible]めく
萩をうしやむ松乃枝ふくせ
又うしやましさい常迚すく
一地にれや
思ふもハ[illegible]もあえん地なりせや

枝ふもとそ[illegible]こく[illegible]きハ[illegible]も
花ハ地にかなしい[illegible]せてうたく
外人の魂心ハあふれしきとのま
むものなくそるもし[illegible]人
愁ろとのハ新とのてく御し云
ろすあれハかくまめり文こたかく由
せハこのまれ姫地にあまやかしこ白
ハ地またあらそしこ也

一ニ事ハ世ニ何ノ事モ無キ
我ガ主人ニ所ノ中ニ数ヘ入ル
ベキノ事ニテ候ハヾ所ノ
名ニモ成ル可キ所ノ意ヲ
以テ人ニ語ル
世ニ無ク成ラン事ヲ
ト云フ心ニ又ハ
事ノ為ニ仕ル者ノ事

一ニ事ハ
武士ノ中ニテ治ル所ノ綱代ノ事
ハ
ハ
世ニ無キ事ニ成ル中
ニ
ノ
ト
事ノ為ニ

人形とし文高田三十文雄姫の
新と[illegible]
[illegible]の[illegible]せ[illegible]
[illegible]

一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

これハめ候もおもし好まゝしかふ
こ游あり
この紙のふさら維史人む
みこれをめかし線あたくゆ
是ハ維史人ゆこれをめかし
線ありまゝハあきゝとのあし以ふ
心ありた紙字乃こ游

一いつしか

小男鹿の入野乃薄ほ尾
いつしか妹か手枕ゆせん
是ハいつしと云義
韻こうしさ妹か北昔乃ちに
いつしかもむかしもまた
是ハ津まの人のいつしと

一かつし
なりこもりかへのくゝ紫ち山川ま

岩ねせむちふあり清き色
これハ入に此心あり
うつせミおもはしりの逢坂に
人そのなかならぬにあまれ
左ハさしてふるし
あれ世のさま成人のこころも
ひハヽこ成あらしめたまふ
左ハ歌めてたし
宗根主判

[illegible]

一天地の間に[illegible]

[illegible]

一志賀の[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一　木しきよ松を付く何木乃ことく
付もて号若葉ましく条
余まさらして苔癒に候
一　面白く作しみしく是ハうきち地す
井海士釣　推　樵叟　草刈
田家の我か居ハものこの人のよそ
眼中にかくを
一　絹の旨地様牟い、もうかあくれ

ならぬ　婦ハ大く泣くし　夜月の鈴
月も花の比花と経て　さきゆく
居ても雑形なして　發句よ語
取らいとも　等ま細に　村眠乃ハ
井と候
一　蔓野生歌紙に字に候　あらま
しらこ書めに之の字に候
一　女経として申女称ゆ　菴由女称

大井上井出拾合集

一彼人倫を人倫とする心の法

[illegible]

一人を百人にする是[illegible]

[illegible]

一越の[illegible]心を[illegible]　北山[illegible]

一[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]

一[illegible]　北山[illegible]

一[illegible]　上[illegible]

不[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一文[illegible]心の[illegible]

又[illegible]

一集[illegible]　[illegible]

[illegible]

一六条寺一条殿少納言　清化

[illegible]

一五の日一[illegible]　一日[illegible]

[illegible]

一番の[illegible]　[illegible]

[illegible]

一治郎と言[illegible]

[illegible]

一山[illegible]

一天と言[illegible]

小　天[illegible]

以上六ヶ条

支那の人の成性として陶冶の
主眼は心身を高尚の域に
おくことにあるべきなり
一生涯の事業の如くなれば
陶冶の方法の高尚なる者の精粗を
云はずして其心の無邪
命のままに心身を
養ふべきなり

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一發句ハ折紙ノ如ク一面
義ノ如ク二句集ノ如ク
也元禄ヨリハ
本ノ集編ノ
ノ特色也俳
元禄ト不
素材ト言葉
一俳ハ本来

[illegible]

桐の葉もまだいとあをき　高橋

山桜白く二月の風吹くと　日

本よりかなり桐の花咲く

西日射すかもしれず金箔の

風風ありにけり春の心や

風に又百年の命おの

[illegible]

いつ掃きも也桐の花の

[illegible]

風の音四季人間人間

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 古事の発句
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

宗柳[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]の[illegible]や[illegible]年[illegible]
[illegible]り[illegible]是[illegible]一世の
[illegible]
[illegible]先一[illegible]
[illegible]一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

又[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]紙[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一定[illegible]
[illegible]

元旦の年賀状を以て代へ
申候
一、今年は世の中物騒
なる心地の致し候へ
共如何様とも
成り行くべきこと
一緒に一杯飲まうとくよ
申す心持致し居り候

今年世の中激の様子に
致し候へ共
之れ迄無事に
一年暮し申候
又連年の
御情
家業も年々御任せ
被成
被下度の事清く
祝

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

此句ハ[illegible]

也[illegible]

[illegible]

一心[illegible]

[illegible]

[illegible]

此[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一雜句[illegible]

佛法[illegible]

人心ハ何ニ譬ヘンカ　祇

一無迷惑ノ道理ハ思ヒ合セラルヽトモ

言ヒ表ハシ難キノミナラズ

二ツノ心ヲ立テ義

理ヲ義ト取リ違ヘル

誤リ是レ人ノ形見ニ祇

心法ノ義ハ無ク

言ノ外ニ世ヲ

了

一

本来人ニ成ル

時ニ天地ノ私

無キ形ヲ形ニ

星ハ人ノ子ノ

一切ニ成ル

嘉祐

義ヲ心ト

形ヲ形ト

了

一

系譜ノ事ヲ

了

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

享保十一丙午十二月既望以正象師之本
書寫校正畢

糀庵南竹甫

糀庵南竹甫ハ久志本常彰号也